



公益財団法人
福島県文化振興財団

ふくしま文化情報

《とうほう・みんなの文化センターと県内のイベント情報を掲載》

2025

11

November

令和7年度「読み直すふくしまの歴史事業」



読み直すふくしまの歴史講演会



人面把手(下郷町栗林遺跡)

《講演内容》

講演 縄文DXふくしま
高橋満(県立博物館 学芸課長)

報告1 栗林遺跡の調査成果について
今野徹(県文化振興財団遺跡調査部主幹)

報告2 相馬福島道路の調査成果について
鶴見諒平(県文化財センター白河館まほろん 主任学芸員)



縄文土器彩文浅鉢(下郷町栗林遺跡)

※左の文様は、この土器の内面に赤彩された文様を真上から見たイメージ図です。

県内遺跡に関する最新の調査から「ふくしまの歴史」を再考

近年の調査・研究の成果から、「ふくしまの歴史」を見つめ直す講演会を開催。今回は、県文化財センター白河館まほろん企画展「新収蔵資料展 まほろんのニューフェイスたち」の開催にあわせて、同展に展示されている遺物が出土した遺跡に着目。本県の縄文時代に関する講演のほか、下郷町の栗林遺跡や相馬福島道路の調査成果などについて紹介し、「新しいふくしまの歴史像」をさぐる。

【日時】11月30日(日)10:30開演

【会場】白河市立図書館 地域交流会議室

【料金】無料

【主催】公益財団法人福島県文化振興財団

【問合せ】まほろん(0248)21-0700

※定員当日先着 180 名。

※当日は会場の駐車場が混雑することが予想されるため、バス・電車等の公共交通機関や、白河文化交流館コミネスの駐車場(白河駅寄りの東部のみ使用可)をご利用ください。

Event Schedule

イベントスケジュール 11月

※本誌に掲載した情報は、すべて10月10日現在のものです。
主催者の都合により掲載内容が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

音楽

11/1(土) チケット販売中
第42回東北ハーモニカフェスティバル2025 in 福島
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂 (福島市音楽堂)
時 12:30 料 1,000円
問 福島県ハーモニカ協会事務局 (090)2274-6115
※東北地方のハーモニカ愛好者が一堂に会する。特別ゲストとして、トリオ「ハーモニカ・ライナーズ」が出演。未就学児入場不可。



11/8(土)
郡山バッハ研究会 第19回定期演奏会
所 郡山市・けんしん郡山文化センター (郡山市民文化センター) 時 14:00
料 一般3,000円、大学生以下1,000円
出 斎藤和夫(指揮)
隠岐彩夏(ソプラノ)、押見朋子(メゾソプラノ)
辻裕久(テノール)、成瀬当正(バリトン)
アンサンブルofトウキョウ(管弦楽)
郡山バッハ研究会(合唱)、聖パウロを歌う会(同)
曲 J.S.バッハ「マニフィカト BWV243」
F.メンデルスゾーン「オラトリオ 聖パウロ 第二部」
問 事務局 (024)933-6705
※40年間バッハの作品を研究・発表してきた合唱団の最終公演。未就学児入場不可。詳細は裏表紙インタビューコーナー参照。



11/12(水) チケット販売中
演歌熱唱！夢の競演
所 福島市・パルセいいざか 時 10:45
(福島市飯坂温泉観光会館)
料 《全席指定》S席指定6,000円
A席指定5,000円
出 千昌夫、山川豊、石原詢子、大石まどかほか



11/23(日・祝)
三井住友海上文化財団 ときめくひととき 第1075回
須川展也サクソフォン・リサイタル
～アンサンブルで綴る「銀河鉄道の夜」～
ソロ曲からアンサンブルまで多彩なステージ
所 会津若松市・會津風雅堂 時 14:00
料 《全席指定》(前売)一般1,000円、大学生以下500円 (当日)一般1,200円、大学生以下700円
問 風雅堂 (0242)27-0900
※昨年デビュー40周年を迎えた日本を代表するクラシカル・サクソフォン奏者。第1部はソロ曲を中心に、第2部は宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を題材にしたサクソフォン五重奏とピアノのアンサンブル曲などを演奏する。開演前の午後1時30分からは、会津出身のサクソフォン奏者・山浦雅也と阪波花梨が率いる「会津サクソフォンプロジェクト」との共演によるプレコンサートもある。未就学児入場不可。



《スケジュール内の記号について》
チケット販売中 県文化センター管理事務所でチケット販売中
障がい者割引 障がい者無料 手帳など証明書類を所持参、主催者へ要問合せ
所 開催場所 出 出演予定者
時 開演・開始時間 曲 演奏予定曲
休 休館日 講 講師予定者
料 料金 題 演題
※(前売)の記載がない場合、当日券の料金(税込み)
問 お問い合わせ

問 ミキ・プロモーション(090)8788-3839
オカダ・プランニング(0225)22-0934
※未就学児入場不可。

11/12(水)
オーケストラ ファン・ヴァセナール
室内楽シリーズ2025(第26回)
『ヴェネチアから愛を込めて』
～ヴィヴァルディの室内楽を求めて～
所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス
時 14:30、18:30
料 一般3,000円、U25(25歳以下)1,500円
3歳以下膝上鑑賞無料
曲 A.ヴィヴァルディ
「ヴァイオリンソナタIV 小短調 RV17a(Manchester sonatas)」
「チェロソナタ 第9番 小短調 RV42」ほか
問 アリオスチケットセンター (0246)22-5800
※バロック・ヴァイオリン奏者の赤津真言が率いる楽団が、ヴィヴァルディの室内楽の魅力を紹介する。

11/15(土)
デビュー25周年記念 川井郁子 華麗なる音楽会
～映画音楽からタンゴまで～
所 南相馬市民文化会館ゆめはっと
時 15:00 料 《全席指定》(前売)一般4,500円
(当日)一般5,000円
出 川井郁子(ヴァイオリン)、デヴィ夫人(スペシャルゲスト)
小島さやか(ピアノ)ほか
曲 エディット・ピアフメロデー、男はつらいよ
ポール・ウナ・カベサほか
問 ゆめはっと (0244)25-2763
※デビュー25周年を迎えたヴァイオリニスト・川井郁子が、世代を超えて愛される珠玉の名曲をセレクトして送る華麗なる音楽会。「令和7年度文化庁劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」により、小学生以上18歳以下の無料招待枠がある(要申込)。未就学児入場不可。

11/15(土)
宝くじおしゃべり音楽館
～想い出のスクリーンミュージック～
所 相馬市民会館 時 13:30
料 (前売)一般・大学生2,500円、小・中学・高校生1,500円
(当日)一般・大学生3,000円、小・中学・高校生2,000円
曲 ニュー・シネマ・パラダイス、ピノキオより「星に願いを」
魅惑のワルツほか
出 春風亭小朝(トーク&ナビゲーター)、小原孝(ピアノ)
島田歌穂(歌)、おしゃべり音楽館ポップスオーケストラ
問 相馬市民会館(0244)35-2426
※映画音楽の名曲の数々を、トークを交えながら歌とオーケストラで演奏。未就学児入場不可。

11/24(月・振休)
第39回 くるめギターアンサンブル
定期コンサート
所 郡山市中央公民館 時 13:30 料 無料
曲 ゴンチチ「放課後の音楽室」、日本の調べ(わらべ歌メドレー)
久石譲「ジブリアニメメドレー」ほか
問 事務局 (024)946-2641
※郡山市で活動するクラシックギターの合奏団。合奏・アンサンブルの二部構成でギターの名曲の数々を演奏。指導者の渡辺隆さんのオリジナル編曲「コルシカ島の12の歌」を初演する。

11/29(土) チケット販売中
立花和夫記念第12回演奏会
ラルカータ室内合奏団 冬桜コンサート
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)
時 14:00 料 3,000円
曲 モーツァルト「ディヴェルティメント 二長調 K.136」
宮城道雄「水三題」より「山の寛(やまのかげひ)」
「大河の夕(おおかわのゆうべ)」
ヘンデル「かつて木陰は」ほか
出 篠崎史紀(ヴァイオリン、特別出演)
立花真理(ピアノ)、立花かおり(箏)、芙蓉会(同)
ラルカータ室内合奏団(管弦楽)
問 事務局 (090)9036-2695
※1988(昭和63)年に創立された福島市の市民合奏団。



11/30(日)
会津第九演奏会2025
所 会津若松市・會津風雅堂 時 13:30

11/3(月・祝)
イギリスの人形劇団〈ピクルドイメージ〉
「ヤナと雪男」

人形の繊細な動きと芸術的な美術セットで「垣根がない世界」を描く

所 白河市・白河文化交流館コミネス 時 11:00、14:30
料 一般3,000円、U18(18歳以下)1,000円、障がい者・車いす3,000円(介助者無料)
問 コミネス (0248)23-5300
※2000(平成12)年に結成されたイギリス・ブリストルの劇団による公演。雪に閉ざされたノルウェー北部の小さな町を舞台に、小さな女の子「ヤナ」と雪男の子ども「イエティ・プー」の友情を描く。物語は架空の言語(ジバリッシュ)を使って展開し、言葉や文化、立場の違いを越えて「心でつながる」ことの大切さを伝える。対象鑑賞年齢5歳以上、手話通訳あり。上演後、人形操作や舞台装置の見学もできる。



自主上映

11/8(土)

アサカ理研 郡山中央図書館 映画会
「映画『こども食堂にて』」

所 郡山市・アサカ理研 郡山中央図書館 **時** 10:00、14:00

¥ 無料(要整理券) **問** 図書館(024)923-6616

※定員各回当日先着100名(要整理券)。各上映開始時間30分前に整理券配布。上映作品は、こども食堂を舞台に、子どもたちを支えようとする大人たちを描いた「こども食堂にて」(2018年、115分)。

展 示

開催中～ 11/5(水)

福島県歴史資料館移動展「明治時代の白水阿弥陀堂」

所 福島市・県立図書館 **時** 9:30～19:00(土日祝は17:30まで)

休 月曜日(11/3をのぞく)、11/4 **¥** 無料

問 図書館(024)535-3220

※明治時代に長年の経年劣化と暴風によって倒潰し、大規模な修復がなされて国宝になっている白水阿弥陀堂について、当時の写真や修理の記録から、明治時代の白水阿弥陀堂を紹介。

開催中～ 11/9(日)

一結城素明生誕150周年記念企画展—

結城素明 日本画所蔵名品選

所 白河市・藤田記念博物館 **時** 10:00～16:00

休 月曜日(11/3をのぞく)、11/4

¥ 一般500円、高校・大学生300円、中学生以下無料

問 博物館(0248)24-1780

※日本画家・結城素明生誕150周年を記念し、伝統的な手法をベースにした作品から、西洋近代画風の傾向を示す作品など、幅広い画風の作品を展示。

開催中～ 11/24(月・振休)

水郡線応援「東白川郡の古文書—鮫川村編—」

所 福島市・県歴史資料館

時 9:00～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(11/3、11/24をのぞく)、11/4

¥ 無料 **問** 資料館(024)534-9193

※水郡線活性化を応援するため、同館に収蔵されている水郡線沿線地域(東白川郡)ゆかりの古文書を展示するシリーズ展の第2弾。江戸・明治時代を中心とした鮫川村



にゆかりのある古文書を展示。11月8日(土)午後1時30分からは展示解説会を開催。

開催中～ 11/24(月・振休)

記録から読み解く日本と郡山の歴史

～時代を証言するたからもの～

所 郡山市歴史情報博物館 **時** 9:30～17:00(最終入館16:30)

11/15のみ20:30(最終入館20:00)

休 月曜日(11/3、11/24をのぞく)、10/31、11/4

¥ 一般500円、高校・大学生・65歳以上400円、中学生以下無料

問 博物館(024)923-8921

※国立公文書館所蔵の資料を中心に展示し、近代日本と同時期の郡山の主な出来事を、公文書の視点から読み解く。11月8日(土)午後3時からは国立公文書館職員による展示解説、11月24日(月・振休)午後2時からは郡山市歴史情報博物館職員による展示解説もある。

開催中～ 11/27(木)

ふくしまの森 応援隊 展示イベント

福島の森のことを知ろう

～森林・林業・森のめぐみと復興～

所 双葉町、東日本大震災・原子力災害伝承館

時 9:00～17:00(最終入館16:30) **休** 火曜日

¥ 無料 **問** 全国林業改良普及協会(03)3500-5033

※福島第一原発事故後14年が経過した福島の森林の現状や、森林・林業の再生に向けた取組を紹介するパネル展示。

開催中～ 11/30(日)

刀剣と刀装具—郷土刀と青津保壽刀装具コレクション—

所 須賀川市立博物館 **時** 9:00～17:00(最終入館16:30)

11/8のみ20:30まで(最終入館20:00)

休 10/27、11/4、11/10、11/17、11/25

¥ 一般・大学・高校生500円、中学生以下無料

問 博物館(0248)75-3239

※日本美術刀剣保存協会福島県南支部会員及び関係者が所蔵する刀剣など約50点と、同館収蔵の青津保壽刀装具コレクション約100点を展示し、本県ゆかりの刀工の名品を紹介。

開催中～ 11/30(日)

常設展 31 期「いきものたちとみる大山芸術」

所 二本松市・大山忠作美術館

時 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(11/3、11/24をのぞく)、11/4、11/25

¥ 一般410円、高校生以下210円

問 美術館(0243)24-1217

※二本松市出身の日本画家・大山忠作の代表的な「鯉」の作品をはじめ、鳥や猫、小動物や伝説上の神獣まで、「いきもの」が描かれた作品を展示する。

開催中～ 11/30(日)

郷土人形で見る曾我物語

所 三春町歴史民俗資料館 **時** 9:00～16:30(最終入館16:00)

休 月曜日(11/3、11/24をのぞく)、11/4、11/25

¥ 一般・大学生300円、小・中学・高校生150円

問 資料館(0247)62-5263

※歌舞伎や能、浄瑠璃などで多くの演目を残す「曾我物語」に関連した三春人形や、堤人形・相良人形・花巻人形など東北各地の人形を展示するほか、「仮名手本忠臣蔵」や「伽羅千代萩」といった歌舞伎に由来する演目の人形や関連する資料を紹介。

開催中～ 12/1(月)

豪雪に育まれた豊かな川辺の生態系

所 只見町ただみ・ブナと川のミュージアム(只見町ブナセンター)

時 9:00～17:00(最終受付16:00) **休** 火曜日

¥ 一般・大学・高校生310円、小・中学生210円

問 ブナセンター(0241)72-8355

※只見町に流れる溪流・河川、川辺に発達する森林や生息する野生動植物、川と人の暮らしとの関わりや次世代に自然を引き継ぐことの重要性について、パネル展示などで紹介する。

開催中～ 12/14(日)

新収蔵資料展 まほろんのニューフェイスたち

所 白河市・県文化財センター白河館まほろん

時 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(11/3、11/24をのぞく)、11/4、11/25

¥ 無料 **問** まほろん(0248)21-0700

※県文化財センター白河館まほろんが収蔵する資料の中から、近年収蔵された出土遺物を初公開。今後注目されるべき新たな資料にスポットをあて、県内各地の発掘調査成果を紹介する。



開催中～ 12/21(日)

コレクターズ episode 2

所 柳津町・やないづ町立斎藤清美術館

時 9:00～16:30(最終入館16:00)

休 月曜日(11/3、11/24をのぞく)、10/27～10/31、11/4、11/25

¥ 一般510円、高校・大学生300円、中学生以下無料

問 美術館(0241)42-3630

※斎藤清を愛してやまない松島俊宏氏が長年かけて収集したコレクションの中から、同館未収蔵作品や関連資料99点を含む約200点を、同氏の解説コメントとともに展示。11月までの第1・第3日曜日午後2時から、同館学芸員によるギャラリートークもある。10月26日(日)まで前期展、11月1日(土)より後期展。

開催中～ 12/28(日)

染むーその糸が続く先へー

所 郡山市・日本きもの美術館

時 10:00～17:00 **休** 会期中無休

¥ 一般1,000円、高校・大学生700円、小・中学生500円

問 美術館(024)984-3021

※「染められること」「受け継がれること」に焦点を当て、留袖・訪問着・振袖・婚礼衣装・紬・銘仙など、さまざまな種類の着物を展示。

開催中～ 2026/2/8(日)

絵画×民具—片桐俊輔コレクションを中心に—

所 只見町、ただみ・モノとくらしのミュージアム

時 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(11/3、11/24、1/12をのぞく)、11/4、11/25

12/29～1/3、1/13

¥ 無料 **問** ミュージアム(0241)86-2175

※只見町出身で「お菓子の城 那須ハートランド」創業者の片桐俊輔氏が収集した斎藤清・大山忠作らの作品を中心とした絵画約20点と、同館が収蔵する「シゴトシ」「チャワンカゴ」などの民具を併せて展示。絵画作品は前・後期で入れ替えあり。11月5日(水)より後期展。

11/1(土)～2026/2/16(月)

描かれた炭鉱(ヤマ)—菊地正男絵画展—

所 いわき市石炭・化石館「ほるる」

時 9:00～17:00(最終入館16:30)

休 11/18、12/16、1/1、1/20

¥ 一般660円、中学・高校・大学生440円、小学生330円

問 ほるる(0246)42-3155

※いわき市・古河好間炭礦で働いたのち、画家の道へ進んだ菊地氏の炭鉱絵画を中心に、絵画の中で描かれた採炭機器などの実物を展示し、在りし日の炭鉱(ヤマ)の仕事や生活を紹介する。11月23日(日・祝)、12月21日(日)、1月12日(月・祝)、2月8日(日)各日も午後2時から、同館学芸員によるギャラリートークもある。



開催中～ 11/24(月・振休)

二本松城跡本丸石垣修築復元事業竣工30年記念特別企画展

「二本松城の石垣」

石垣の修築復元をめぐる状況とその意義を紹介

所 二本松市・二本松歴史館 **時** 9:00～17:00(最終入館16:30)

休 会期中無休 **¥** 無料 **問** 二本松市教育委員会文化課(0243)55-5154

※史跡・二本松城跡にある長さ約80メートルにも及ぶ本丸石垣は、築城当初とその後に修改築された時代ごとの様相を残す貴重なものである。文化財として後世に残すため、二本松市では1993(平成5)年から約2年にかけて修築復元事業が実施され、伝統技術による積み直しが行われた。本展では、当時の石垣修復の状況と意義を、積み直しが始まる際に行われた儀式「鍬初め式」で使用した道具や儀式的映像、作業工程を振り返る多くの写真記録やパネルなど、約70点の資料により紹介する。



開催中～ 11/24(月・振休)

久留米市姉妹都市提携50年・鳥取市姉妹都市提携20年記念

企画展「安積開拓のつながり—姉妹都市と郡山—」

安積開拓の歴史とともに姉妹都市とのつながりを振り返る

所 郡山市開成館 **時** 10:00～17:00(最終入館16:30) **休** 月曜日(11/3、11/24をのぞく)、11/4

¥ 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下・65歳以上無料 **問** 郡山市開成館(024)923-2157

※明治時代に行われた国営安積開墾事業は困窮した士族の救済策として行われ、郡山には県内外の士族が移住し事業にあたった。最初期にやってきた旧久留米藩士族が生活した地域には「久留米」の地名が残されている。旧鳥取藩士族は現在の喜久田町・日和田町に移住し、郡山市開成館敷地内に移築復元された「安積開拓入植者住宅(旧坪内家)」から当時をしのぶことができる。本展では、安積開拓の歴史とともに、当時の文書、地図、久留米押絵やパネルなどから二市とのつながりを紹介する。



福島県文化センターの公式



チャンネルでは、施設案内や



当館で開催された催しの様子などをご覧いただけます。アクセスはこちらから→

当館の最新情報や日常の様子を、公式



アクセスはこちらから→



Facebook

Instagram

11/8(土)～12/7(日)
ハービー・山口 作品展
代官山17番地―消えゆくものへの憧れ―
所 福島市写真美術館(花の写真館)
時 9:00～16:30(最終入館16:00) 休 会期中無休
料 一般・大学生300円、高校生以下100円、未就学児無料
問 花の写真館(024)563-4990
※エッセイスト、ラジオパーソナリティー、歌詞提供等様々な活動を行う写真家、ハービー・山口氏が、1990年代に解体される直前の「同潤会代官山アパート」へ通い詰めて撮影した作品を展示。11月22日(土)午後1時30分からは、ハービー氏本人によるギャラリートークもある(要申込)。

11/8(土)～2026/2/8(日)
漁業と浜の暮らし
所 いわき市暮らしの伝承郷
時 9:00～16:30(最終入園16:00) 休 火曜日、12/29～1/1
料 一般340円、高校・大学生220円、小・中学生170円
問 伝承郷(0246)29-2230
※いわき七浜を中心に、浜の発展にかかわった生業の中から鯉節、蛸漁、塩業に焦点を当て、同館収蔵品に地域の資料を加え、幅広い角度から漁業と浜の暮らしを紹介する。11月22日(土)午前10時30分、12月6日(土)・20日(土)・令和8年1月3日(土)・17日(土)・31日(土)午後1時30分からは、同館職員による展示解説会もある。

11/15(土)～12/14(日)
コレクションの輝き
所 いわき市立美術館 時 9:30～17:00(最終入場16:30)
休 月曜日(11/24をのぞく)、11/25
料 一般500円、高校・大学生300円、小・中学生100円
問 美術館(0246)25-1111
※同館が収集する1945(昭和20)年以降の現代美術作品の中から、「風景」と「人間」をキーワードに、写実的な絵画から少し謎めいた表現まで、多彩な作品を展示。来場者が展示作品の中からイチオシの1点を選ぶ投票の場を設けるとともに、コメント付きの投票用紙を掲示する。関連イベントとして、11月22日(土)午後2時からギャラリートークを行うほか、ダンス気功のワークショップやダンスライブなどもある。

県外
開催中～12/21(日)
ライシテからみるフランス美術
信仰の光と理性の光
所 栃木県・宇都宮美術館 時 9:30～17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(11/3、11/24をのぞく)、11/4、11/25
料 一般1,200円、高校・大学生1,000円、小・中学生800円
問 美術館(028)643-0100
※フランス革命から20世紀半ばへと至る時代にかけての画家たちの作品を展示し、それらを生み出した信仰や社会の変化に沿って紹介する。関連イベントとして、シンポジウム、ギャラリートークもある。

11/22(土)～2026/1/12(月・祝)
田畑あきら子展
所 新潟県立万代島美術館
時 10:00～18:00(観覧券の販売は17:30まで)
休 12/1、12/15、12/29～1/3

震災からの県民の「心の復興」と福島県を担う人材育成を目的に実施する公益目的事業「未来への文化発信事業」を推進しております。

この事業への寄附をお願いします。

料(前売)一般900円(11/21まで販売)
(当日)一般1,100円、高校・大学生800円、中学生以下無料
問 美術館(025)290-6655
※新潟県出身の画家の回顧展。代表作の白い油彩画とともに、大学卒業から亡くなる直前までの5年間で描かれた200点を超える素描を展示し、田畑が描きとめた儚いイメージの世界を紹介。

講演・講座
11/8(土)
水郡線応援「東白川郡の古文書一鮫川村編一」
展示解説会
所 福島市・県歴史資料館 時 13:30 料 無料
講 同館学芸員 問 資料館(024)534-9193

11/16(日)
企画展「刀剣と刀装具―郷土刀と青津保壽刀装具コレクション―」特別講演会
所 須賀川市立博物館 時 14:00
料 観覧料として一般・大学・高校生500円、中学生以下無料
講 高山武士(刀剣文化研究所主幹) 問 博物館(0248)75-3239
※定員先着30名(要申込)。博物館窓口または電話にて申込受付。受付状況については要問合せ。

11/30(日)
読み直すふくしまの歴史講演会
所 白河市立図書館 時 10:30 料 無料
講 ①高橋満(県立博物館学芸課長)
②今野徹(県文化振興財団遺跡調査部主幹)
③鶴見諒平(県文化財センター白河館
まほろん主任学芸員)
題 ①縄文DXふくしま
②栗林遺跡の調査成果について
③相馬福島道路の調査成果について
問 まほろん(0248)21-0700
※詳細は表紙参照。

その他
開催中～11/16(日)
アクアマリンアートフェス2025
所 いわき市・ふくしま海洋科学館(アクアマリンふくしま)
時 イベントによって異なる 休 会期中無休
料 一般・大学生1,850円、小・中学・高校生900円、未就学児無料
問 アクアマリンふくしま(0246)73-2525
※「常磐もの」をテーマにした「第17回 小名浜国際大漁旗アート入賞作品展」をはじめ、写真展やNHK交響楽団メンバーと仲間たちによるコンサートなど、さまざまなイベントを開催。

開催中～11/16(日)
高村智恵子レモン祭
所 二本松市智恵子の生家・智恵子記念館
時 イベントによって異なる 休 水曜日
料 高校生以上410円、小・中学生210円
問 智恵子記念館(0243)22-6151
※二本松市出身の画家であり紙絵作家・高村智恵子の命日にあわせ、各種イベントを開催。上川崎和紙ランプなどで智恵子の生家を照らす「蘇る智恵子 season 3～生家のライトアップ～」のほか、生誕祭来場者によって作製された折り鶴の展示など。



財団トピックス

福島県歴史資料館

「地域史研究講習会」を三春町で開催！ 江戸・明治時代の地域の歴史と歴史資料について理解を深める

地域史研究の方法とあり方について、最新の研究成果に基づいて理解を深めるとともに、歴史資料の保存・活用について関心が高める機会として、2名の講師による報告・講演を行います。大橋幸泰氏の講演は、福島県内で初めてであり、この機会をお見逃しなく。

《外部講師プロフィール》

大橋 幸泰 氏
1964(昭和39)年新潟県三条市生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程史学(日本史)専攻修了。博士(文学)。専門分野は、日本近世におけるキリシタン史。著書は、『キリシタン民衆史の研究』(東京堂出版)、『検証 島原天草一揆』(吉川弘文館)、『潜伏キリシタン江戸時代の禁教政策と民衆』(講談社)ほか多数。また、NHKテレビBSプレミアム「英雄たちの選択 悲劇のキリシタン弾圧～大人になった天正遣欧使節の決断～」、テレビ東京「美の巨人たち 大浦天主堂」などにも出演。

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)文化会館の再開館の予定について

令和6年7月から、地震により被災した大ホール客席天井の復旧・改修や、老朽化が進む空調設備の改修工事のため休館しております「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)文化会館」については、令和8年9月1日(火)より再開館を予定しております。

- 再開館予定日
令和8年9月1日(火)
- 施設利用申請受付開始予定日
○大ホール 令和8年2月18日(水)
○大ホール以外の施設 令和8年1月15日(木)

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所で販売中のチケット ※10月10日現在の情報です。

イベント名	会場	開催日時	料金(前売)	お問合せ
第42回東北ハーモニカフェスティバル2025 in 福島	福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)	11月1日(土)12:30	1,000円	福島県ハーモニカ協会事務局(090)2274-6115
演歌熱唱! 夢の競演	福島市・バルセイいざか(福島市飯坂温泉観光会館)	11月12日(水)10:45	《全席指定》 S席指定6,000円 A席指定5,000円	ミキ・プロモーション(090)8788-3839 オカダ・プランニング(0225)22-0934
立花和夫記念第12回演奏会 ラルカータ室内合奏団 冬桜コンサート	福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)	11月29日(土)14:00	3,000円	事務局(090)9036-2695
「田中彩子 ソプラノ・リサイタル 2026 in 郡山」Presented by WOWOWプラス	けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)	4月18日(土)14:00	《全席指定》 一般6,000円	福島中央テレビ事業部(024)924-1100

地域史研究講習会

【日 時】11月15日(土)13:00
【会 場】三春町・三春交流館「まほら」
【定 員】100名(申込不要、当日先着順)
【料 金】無料
【演 題】
①「島原天草一揆の記憶」
大橋幸泰 氏
(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)
②「江戸時代から明治時代にかけての
阿武隈川上流域の舟運」
小野孝太郎
(公益財団法人福島県文化振興財団
歴史資料課専門学芸員)

【問合せ】県歴史資料館(024)534-9193

※施設利用申請受付開始にあたっては、受付会場や受付開始時間等の詳細が決定次第、とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)のホームページに掲載いたします。

※再開館及び施設利用申請受付開始時期は、現時点での予定です。工事は令和8年6月30日までの工期で実施しております。工事の進捗等により変更(遅延)がある場合は速やかにお知らせします。

【利用に関する問合せ】

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所(024)534-9191(文化推進課)

【改修工事についての問合せ】

福島県文化スポーツ局文化振興課(024)521-7179



スポットライト

— 今、注目のイベント情報

郡山バッハ研究会 第19回定期演奏会

バッハと向き合って40年—— 活動の集大成となる演奏会を開催

#13 郡山バッハ研究会 会長 斎藤 和夫さん

郡山バッハ研究会は、ドイツの作曲家 J. S. バッハの愛好者が集う合唱団である。バッハの音楽をより深く追究することをめざし、バッハ生誕 300 年記念の 1985(昭和 60) 年に発足した。以来、2 年に一度の定期演奏会の開催や海外演奏などで高く評価されてきたが、会員の高齢化や合唱人口の減少を背景に、本公演をもって 40 年の活動に幕を下ろす。

会長で常任指揮者の斎藤和夫さんは、バッハの音楽が持つ魅力の根幹は「対位法」とであると語る。異なる 2 つ以上の音を同時に奏でる技法のことで、各パートの旋律が応答し、重なり合うことで美しいハーモニーが展開する。この技法を芸術的な極致まで高め、完成させたのがバッハであるという。「バッハの音楽で確立された技法が、後世の作曲家や音楽家にいかに継承されてきたのかを研究してきた」とこれまでの活動を振り返る。

現在、会員は活動の集大成となるステージに向け練習に余念がない。「バッハの曲は難易度が高いが、歌えば歌うほどその魅力に



来場を呼びかける斎藤さん

引き込まれる」といい、「まるで『スルメ』のよう」と頬を緩ませる。

公演ではバッハの名曲として名高い「マニフィカト 二長調 BWV243」と、バッハ没後 100 年後に、バッハの代表作「マタイ受難曲」を発掘し、蘇演したメンデルスゾーンの「オラトリオ 聖パウロ 第2部」の2曲を披露。「アンサンブル of トウキョウ」による5年ぶりのオーケストラ伴奏でフィナーレを飾る。「これまでの研究会の活動を象徴する2曲を楽しんでほしい」と斎藤さんは語る。



全体練習の様子。

譜面に込められた意図を読み取り、表現していく。

郡山バッハ研究会 第19回定期演奏会

日時：11月8日(土)

会場：郡山市・けんしん郡山文化センター
(郡山市民文化センター)

料金：一般 3,000 円、大学生以下 1,000 円

出演：斎藤和夫(指揮)

隠岐彩夏(ソプラノ)、押見朋子(メゾソプラノ)

辻裕久(テノール)、成瀬当正(バリトン)

アンサンブル of トウキョウ(管弦楽)

郡山バッハ研究会(合唱)、聖パウロを歌う会(同)

問合せ：事務局 (024)933-6705

※未就学児入場不可。



公益財団法人

福島県文化振興財団

【問合せ先】〒960-8115 福島県福島市山下町1-25

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所

TEL (024) 534-9191 FAX (024) 536-1926